



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月29日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 小池 守 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 平成29年10月31日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	407,702	14.1	8,455	40.8	10,891	30.7	7,478	36.3
29年2月期第2四半期	357,474	△12.4	6,003	△32.3	8,330	△26.5	5,486	△29.4

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 8,527百万円(16.2%) 29年2月期第2四半期 7,336百万円(124.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	776.71	—
29年2月期第2四半期	569.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	458,254	191,845	39.9
29年2月期	446,726	184,427	39.3

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 182,943百万円 29年2月期 175,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	85.00	—	90.00	175.00
30年2月期	—	90.00			
30年2月期(予想)			—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	8.9	16,000	10.6	19,500	8.0	13,000	12.0	1,350.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期2Q	9,720,000株	29年2月期	9,720,000株
30年2月期2Q	92,081株	29年2月期	91,963株
30年2月期2Q	9,628,009株	29年2月期2Q	9,628,258株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、先行き不確実な状況が続いていますが、堅調な米国経済に加え、中国及び新興国経済が持ち直し、緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、輸出と設備投資の伸びなどで製造業の生産活動の持ち直しが続き、また、個人消費に回復の兆しが見られ、堅調に推移しました。

このような状況下にあつて、当第2四半期連結累計期間における売上高は、4,077億2百万円で前年同期比14.1%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が285億2百万円（前年同期比13.9%増）、営業利益が84億55百万円（前年同期比40.8%増）、経常利益が108億91百万円（前年同期比30.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は74億78百万円（前年同期比36.3%増）となりました。

これを、事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の回復に加え、土木・建築向けで数量を伸ばし、好調でした。

特殊鋼部門は、建機等の産業機械や自動車の生産が国内外で持ち直し、好調でした。

海外は、鋼材価格の回復及び北米向けで数量を伸ばし、好調でした。

鉄鋼セグメントの売上高は、1,703億35百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

## (情報・電機)

非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、自動車関連や電子部材を中心に国内外で需要が伸び、好調でした。

エレクトロニクス部門は、通信機器関連が減少しましたが、自動車関連やFA関連が底堅く推移し、堅調でした。

情報・電機セグメントの売上高は、879億4百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

## (産業資材)

化成品部門は、樹脂原料価格の上昇に加え、自動車関連などで数量を伸ばし、大幅に増加しました。

メカトロ部門は、海外は設備の輸出が落ち込みましたが、国内は設備機械、部品・工具が伸び、順調でした。

産業資材セグメントの売上高は、1,222億31百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

## (生活産業)

配管建設部門は、建築物の請負工事が減少しましたが、需要の緩やかな回復を受け配管資材、分譲マンションの販売が共に増加しました。

食品部門は、水産物の輸入が落ち込みましたが、鶏肉・鶏肉加工品等の販売が増加しました。

生活産業セグメントの売上高は、272億32百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,582億54百万円となり、たな卸資産や売上債権の増加などにより前連結会計年度末に比べて115億27百万円増加しました。

負債は2,664億8百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて41億10百万円増加しました。

純資産は1,918億45百万円となり、利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて74億17百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成29年3月31日発表の予想数値を据置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,627	11,827
受取手形及び売掛金	164,740	167,083
電子記録債権	23,137	25,862
商品及び製品	43,199	47,713
仕掛品	4,530	6,430
原材料及び貯蔵品	1,496	1,464
その他	9,186	9,189
貸倒引当金	△553	△539
流動資産合計	258,364	269,030
固定資産		
有形固定資産	40,215	39,728
無形固定資産	1,292	1,278
投資その他の資産		
投資有価証券	128,404	129,244
その他	18,735	19,254
貸倒引当金	△286	△282
投資その他の資産合計	146,853	148,216
固定資産合計	188,361	189,223
資産合計	446,726	458,254

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,928	93,021
電子記録債務	17,754	16,567
短期借入金	87,842	89,619
未払法人税等	2,668	2,621
賞与引当金	1,224	1,309
その他	9,687	11,619
流動負債合計	208,105	214,758
固定負債		
長期借入金	19,089	16,401
繰延税金負債	29,181	29,316
役員退職慰労引当金	759	730
退職給付に係る負債	1,738	1,751
その他	3,423	3,450
固定負債合計	54,192	51,650
負債合計	262,298	266,408
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	101,345	107,956
自己株式	△455	△456
株主資本合計	117,817	124,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,771	57,195
繰延ヘッジ損益	△49	△21
為替換算調整勘定	△150	△198
退職給付に係る調整累計額	1,267	1,540
その他の包括利益累計額合計	57,837	58,515
非支配株主持分	8,772	8,902
純資産合計	184,427	191,845
負債純資産合計	446,726	458,254

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	357,474	407,702
売上原価	332,449	379,199
売上総利益	25,024	28,502
販売費及び一般管理費	19,021	20,047
営業利益	6,003	8,455
営業外収益		
受取利息	636	681
受取配当金	1,543	1,790
持分法による投資利益	518	549
その他	518	317
営業外収益合計	3,216	3,338
営業外費用		
支払利息	652	779
手形売却損	11	10
その他	224	113
営業外費用合計	888	902
経常利益	8,330	10,891
特別利益		
固定資産売却益	18	3
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	18	3
特別損失		
固定資産処分損	22	11
減損損失	114	—
投資有価証券評価損	—	22
その他	9	0
特別損失合計	145	33
税金等調整前四半期純利益	8,204	10,860
法人税、住民税及び事業税	2,616	3,415
法人税等調整額	△162	△396
法人税等合計	2,454	3,019
四半期純利益	5,749	7,841
非支配株主に帰属する四半期純利益	263	363
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,486	7,478

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益	5,749	7,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,259	442
繰延ヘッジ損益	81	28
為替換算調整勘定	△3,108	△76
退職給付に係る調整額	184	274
持分法適用会社に対する持分相当額	△829	15
その他の包括利益合計	1,587	686
四半期包括利益	7,336	8,527
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,289	8,156
非支配株主に係る四半期包括利益	47	371

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	144,949	74,910	111,683	25,931	357,474	—	357,474
セグメント間の内部売上高 又は振替高	395	987	380	632	2,395	△2,395	—
計	145,344	75,897	112,064	26,563	359,870	△2,395	357,474
セグメント利益	2,188	1,076	2,385	520	6,170	△167	6,003

(注)1. セグメント利益の調整額△167百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	170,335	87,904	122,231	27,232	407,702	—	407,702
セグメント間の内部売上高 又は振替高	481	1,051	268	663	2,464	△2,464	—
計	170,816	88,955	122,500	27,895	410,167	△2,464	407,702
セグメント利益	3,039	1,942	2,962	993	8,937	△481	8,455

(注)1. セグメント利益の調整額△481百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。